

事例 21 請負事業体と地元猟友会との連携によるシカ捕獲

(中部森林管理局 ^{なんしん}南信森林管理署)



- 長野県 伊那市（いなし）浦（うら）国有林
- 現地確認の様子

中部森林管理局南信森林管理署では、長野県、長野県猟友会及び同局が締結した「国有林野内におけるニホンジカ等の捕獲推進に関する覚書」を基に、治山工事等の請負事業体と地元猟友会の協力の下で国有林野内のシカ捕獲事業（通称「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」）を開始しました。今回の取組では、治山工事の実施箇所周辺でニホンジカが多く目撃されたことから、事業期間中に事業地に至る林道付近や事業地の周辺で猟友会が捕獲用のくくりわなを設置し、捕獲者の猟友会員の負担となっていたくくりわなにニホンジカがかかったことを確認する作業を治山工事事業者に通勤や事業のついでに実施してもらいました。その結果、令和元年度には、302頭のシカを効率的に捕獲することができました。この取組で治山工事事業者と地元猟友会はシカ被害の軽減による地域の森林づくりに貢献したことから、林野庁長官から感謝状を贈呈しました。

今後も、地域の関係者と連携してシカ等の野生鳥獣被害の対策に取り組むとともに、優良な事例の普及を進めていきます。